

業 種	バス
取組分野	事故、ヒヤリ・ハット情報等の収集・活用 教育・訓練
テ ー マ	自社作成の「安全運転HANDBOOK」の活用
取組の狙い	乗務員の各種教育や、事故分析の深度化による事故再発防止策の策定に活用し、全社の事故削減を図る。

具体的内容 京成バス株式会社では、従来の乗務員教育用指導マニュアルをより高度な「安全運転HANDBOOK」に改定し、乗務員教育や事故発生時の分析に活用している。

## 1. 「安全運転HANDBOOK」の内容

### (1) コンセプト

乗務員に事故を起こさないための「安全習慣」(※)を理解・実践・振り返るための手引き書として位置づけている。

※事故を起こさないという意識だけではなく、事故やヒューマンエラーを起こさないための具体的な行動の内容と手順。

### (2) 50パターンの事故類型

過去の自社の事故発生傾向を分析し、運行状況や運転環境に応じた11の大分類とそれらに対応する具体的な事故形態に細分化のうえ、50パターンの事故類型に分類している。

<パターンの例示>

①大分類「01 停留所発車」小分類「発車反動による車内容転倒事故」

②大分類「03 乗降扱い」小分類「中乗り：中扉乗車の際の挟み事故」

### (3) 事故予防のための「安全習慣」の実践

イラストで示した50パターンの事故類型それぞれに対し、事故を発生させないために具体的にどのような行動をとるべきかを、「安全習慣」としてイラスト等を活用し分かりやすく示している。

事故パターンのイメージ

対応する「安全習慣」のイメージ

2. 京成バスの事故実態 (リスク)を知る  
(2) 事故形態の詳細 28

**06 交差点右折時の事故**

● 最多  
-車両右方の接触事故(両車線の渋滞車両など)

-危険回避のための急制動・車内事故

-右面事故(対向車、右折待機車の影から現れるバイクや自転車を含む)

-右折時の左オーバーラップ接触事故

- (その他) ランキユー事故 (対向停止車の影からバイク)

3. 事故予防のための安全習慣を実践する 64  
\* 交差点右左折時共通の安全習慣

**交差点右左折時共通の安全習慣**  
✓ 交差点を右左折する際は、最も人身事故などの重大事故が発生しやすい状況です。そのため当社では、交差点右左折時の実践要領を定めています。

**交差点右左折時の実践要領**

- 1 交差点手前での減速 (時速10km程度まで減速して交差点進入)
- 2 指定交差点における一時停止、指差呼称 (または呼称) の実施
- 3 左折時は最徐行速度で十分な安全確認をして、通過  
右折時は交差点中央付近で、十分な安全確認の後、徐行で通過
- 4 十分に減速しても安全が確認できない場合は、一旦停止の後、安全確認
- 5 交差点手前では、安全用語「右(左)曲がります」の活用

※「最徐行速度」(社内取組み)とは、大人が歩行する速度(時速5キロ程度)。

	<p><b>2. 「安全運転HANDBOOK」の活用</b></p> <p><b>(1) 乗務員教育</b> 乗務員が日常的に活用し安全習慣の実践方法について理解を深めるとともに、新人集合研修及び定期的な実務研修や事故惹起者研修には教材として活用し、教育の均質化と高度化を目指している。</p> <p><b>(2) 各営業所での事故発生時</b> 当該事故を分析する際、各営業所にて 50 パターンの事故類型に当てはめた上で原因を分析し、再発防止のための具体的な行動を決定している。</p> <p><b>(3) 全社的な再発防止策検討</b> 例えば全社で事故が多発した時期に、<u>50 パターンの事故類型に当てはめ全体傾向を分析</u>した結果、「左寄せ」「左オーバーハング」の事故が顕著であることが示され、さらに分析を深掘りした結果、勤続3年未満乗務員への訓練不足が推定された。その対策として勤続3年未満乗務員の運転技術向上を主眼とした、再発防止を図るための全営業所全乗務員対象の一斉小集団活動や各種訓練を実施している。</p> <p><b>3. 「安全運転HANDBOOK」のDVD化</b> 大型未経験乗務員の増加を踏まえ、冊子である「安全運転HANDBOOK」の内容をDVD化した「<u>安全運転実践DVD</u>」を新たに作成することで、経験が浅い乗務員に対し事故の具体的なイメージの理解を促し、安全習慣の実践に繋がっている。</p> <div data-bbox="979 981 1410 1323" style="border: 1px solid black; padding: 5px;"> <p style="text-align: center;">安全運転実践DVDイメージ</p>  </div>
取組の効果	<p>①各営業所の管理者等から、「50 パターンに細分化されたことにより、事故分析が容易になった」「教育すべきポイントが明確となり、よりきめ細やかな教育が出来るようになった」「言葉では伝えづらい事項もイラスト等により伝えやすい」等、取組の効果が感じられる多くの感想・意見が得られている。</p> <p>②平成 28 年 7 月の事故多発時には、新たな分析手法により策定した再発防止策を全乗務員対象に実施した結果、8、9 月、及び 28 年度下期のトータルで減件目標を達成した（前年比 -32 件達成）。</p>
事業者名	<p>京成バス株式会社 (連絡先：運輸安全推進室 047-712-7415)</p>